

## 相澤病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。  
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	我が国における高齢糖尿病患者の実情  (承認 No. 2021-076 )
当院の研究責任者 (氏名・所属・職名)	糖尿病センター・顧問・相澤 徹
他の研究機関および 各施設の研究責任者	聖路加国際病院・内分泌代謝科部長・能登 洋 浅間総合病院糖尿病センター・センター長・仲 元司 NTT東日本札幌病院・院長・吉岡成人 済生会飯塚嘉穂病院・院長・迫 康博
本研究の目的	<p>日本では高齢糖尿病患者が増え続けていますが、その治療の実情は不明の点が多いと考えられます。本研究では、地域中核病院を受診している患者の年齢特性について、その一例として相澤病院でのHbA1cと治療アウトカムの関係を明かにしたいと思います。その結果は、高齢者の治療ターゲットを設定するにあたって重要な基礎データとなる可能性があります。</p> <p>高齢（65歳以上）の糖尿病患者では、血糖値のターゲットをどの程度を目標に治療を行うか、についてガイドラインは示されていますが、その有用性は明らかになっていません。当院での治療結果を検討し、ガイドラインに示された数値の妥当性を明らかにすることは、临床上の判断に有用であると考えられます。</p> <p>本研究は、相澤病院を受診した高齢の糖尿病患者で、血糖管理状況が低血糖発生率や、インスリン使用状況、などに及ぼす影響について検証することを目的としています。</p>
調査データ 該当期間	最大過去 10 年間
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さま 過去最大 10 年間に相澤病院での初診時に 65 歳以上で、糖尿病と診断された患者さん</p> <p>●利用する情報 電子カルテに記録のある診療記録(年齢、性別、HbA1c の値、インスリン処方の有無、低血糖の有無など)</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。 相澤病院との比較として、上記の医療機関から患者さんの年齢分布情報の提供をして頂きます。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

様式 17

本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	相澤病院 糖尿病センター・顧問・相澤 徹 Tel : 0263-33-8600(代表)
備考	